

猫対策を始めるまえに

猫の習性を理解したうえで、対策を講じたほうが、何事もスムーズに進みますし、人、猫の両方にとっても負担がかかりません。

猫の習性や体のしくみ等をいくつかお示ししますので、飼い猫・飼い主のいない猫対策の参考にしてください。

習性

よく寝る

とにかくよく寝ます。少しずつ食べて、あとは寝るばかり。
高カロリーのエサを食べれば、あとは寝ていてエネルギーを温存します。

肉食です

「タウリン」という栄養素は、足りないと夜目がきかなくなったり、失明したりする栄養素ですが、猫は、このタウリンを体内で合成できません。したがって、タウリンを配合した猫専用フードを与えてください。

また、ネギやタマネギなどは、毒となり、鳥の骨は体を傷つけます。猫に味付けは不要。

ちなみに、犬は雑食です。

遊び好き

とにかく遊びが好き。遊び道具、特に動く物があれば大変喜びます。

なわばりには尿かけて

尿をあちこちかけまくるマーキング、スプレー行為は、自分のテリトリーを主張する行為。
また、ストレスを感じたときや、病気の兆候があるときに、マーキングすることもあります。

トイレのしつけは簡単

猫は、犬よりずっとトイレを覚えやすい動物。途中でトイレ砂や、トイレの置き場所をかえないようにしましょう。置き場所は、静かで、人や他の動物の出入りが少ないところで、エサ場から離れているところを好みます。
そわそわしはじめたら、トイレの兆候。トイレに連れて行き、し終わったらほめてやりましょう。他の場所でするようなら、便を拭き取ったティッシュなどをトイレに置いてやりましょう。定期的な清掃をしないと、他のところで用を足すようになります。

いろいろ便利な毛づくろい

猫は、体を清潔に保ち、毛並みを整えるために、舌で毛づくろい(グルーミング)をします。
また、グルーミングで体をなめ、唾液の蒸発により気化熱で体温を下げます。

とってもくさい猫のおしっこ

猫は、摂取した水分を節約し、あまり外に出さないような体の仕組みをしています。おしっこがくさいのは、老廃物を少しの水分に溶かして排出することになるからです。

高いところや物陰、穴が好き

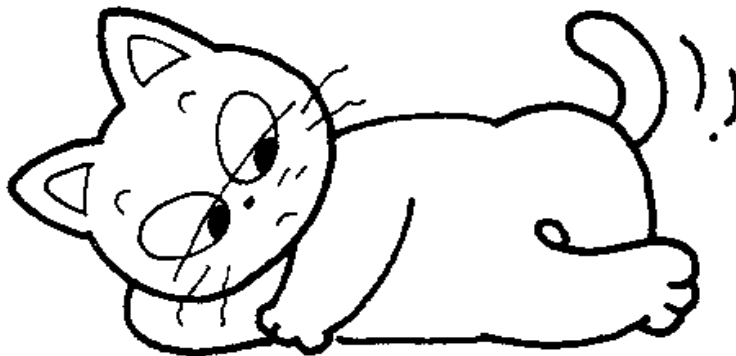
見渡せるところを好みます。高いところに飛び乗ったり、飛び降りたりという動きが好き。つまり、垂直運動が好き。
家を造ったり、ベッドを置くときに参考にしましょう。

すりすり

「すりすり」は、自分の匂いをこすりつけ、なわばりとかを主張するための行動です。猫の頭や口の付近には臭腺という匂いを出す器官があり、それらをこすりつけることによって、なわばりを主張します。

水が大嫌い。

寒がりの猫にとっては、体に付着した水分が蒸発するときに体温を奪われるので、水が嫌いです。



体のしくみ

目 狩りをするのにとても便利な構造をしています。

暗闇ではものをよく見ようとするため、瞳孔をいっぱいに開き光を最大限取り込めるようになっています。また、明るい昼間は瞳孔を細めて目に取り込む光を調節します。また、視界が広く、300度近くみることが出来ます。ただし、視力はかなり悪いです。

耳 とてもいいです。音の種類、方向、距離を即座に感知できます。

とても器用で、音のする方向へ片方だけ動かすことができます。小さな音にも敏感なので、大きい音や、機械などから出る高いモーター音などは大きらい。

鼻 あまりよくないです。食べ物を食べるかどうかを匂いで判断します。

口の中の上あごにも、フェロモンなどの匂いを感知できる器官があります。酢の匂いや、ミント系の匂いたばこの煙などもいやがります。

舌 猫の舌には、味を感知する器官があまり多くありません。

猫の舌の表面はザラザラしており、毛繕いや、骨から肉をこそげとるのに適しています。

ヒゲ 役割はまだ究明されていません。

毛根のまわりの神経に信号を伝達する役目があるといわれています。

しっぽ ピンとたてたしっぽは、友好を表す仕草です。

体のバランスを保つ働きがあるといわれています。

つめ 出し入れ自由です。

飼い主のお気に入りや物をわざわざ選んで、爪を研ぐことがあります。爪を鋭く保つためだけでなく、爪の周りに、匂いを出す臭腺があり、爪研ぎをすることによって自分の匂いをつけています。
猫の手を取って、爪研ぎ器に誘導すると、そこが爪研ぎ場になります。

